

ネイティブ大腸菌β-ガラクトシダーゼ-ビオチン標識

Cat. No. NATE-1585

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明 β-ガラクトシダーゼは、β-ガラクトシドを単糖に加水分解する反応を触媒する加水分解酵素です。異なるβ-ガラクトシダーゼの基質には、ガングリオシドGM1、ラクトシルセラミド、乳糖、およびさまざまな糖タンパク質が含まれます。

用途 β-ガラクトシダーゼは、ファージディスプレイによるヒト抗体フラグメントの選別においてコントロール抗原として使用されました。

別名 β-ガラクトシダーゼ; ベータガル; β-ガル; EC 3.2.1.23; ラクターゼ; β-ラクタシダーゼ; マキシラク; ハイドロラク; β-D-ラクタシダーゼ; S 2107; ラクトザイム; トリラクターゼ; β-D-ガラクトナーゼ; オリザチム; スミクラット; β-D-ガラクトシド ガラクトヒドラーゼ

製品情報

由来 E. coli

形態 トリスアセテート、DTT、MgCl₂、およびイソプロピルβ-D-チオガラクトピラノシドを含む凍結乾燥粉末

活性 350-1200 ユニット/mg タンパク質

構造 2-5 mol d-ビオチンあたりのモルタンパク質

組成 タンパク質、約75% E1%/280

単位定義 1ユニットは、37°CでpH 7.3の条件下で1分あたり1.0μモルのo-ニトロフェニルβ-D-ガラクトシドを加水分解します。